

研修主題

学びに向かう意欲の向上と自分の考えや思いを伝え合う子供の育成
～一人ひとりが認め合い達成感が実感できる授業づくり～

1 はじめに

本校のある豊北町内には8つの地区があり、11年前までそれぞれの地区には1校ずつ小学校があった。しかし、児童数の減少などから少しずつ統廃合が進み、令和2年度、豊北町内の小学校は、「豊北小学校」の1校のみとなった。

町内1小学校1中学校となった、豊北小学校と豊北中学校は、近い将来、小中一貫教育校となる方針が下関市教育委員会から出されている。

これを受け、3年前から小中一貫教育の研究に取り組み、研修主題も毎年小中学校で協議し、小中学校で共通の研修テーマを設定し、研修を行っている。

小中一貫教育について学校、家庭、地域がともに考え、よりよい教育の在り方について研究していくことは、義務教育9年間を通じた児童生徒のよりよい成長につながるだけでなく、学校と地域のつながり、保護者同士や保護者と地域とのつながりをさらに強めていくことにもつながっていくものと考えている。

3年目の取組となる本年度は、様々な活動の深化・充実を図るとともに、グランドデザインの見直し、子育て支援資料の改訂を主なテーマとして取組を進めていくこととした。

2 具体的取組

(1) 6年生の中学校への乗り入れ授業の活性化

豊北小中学校の特色ある取組として、年間5回、6年生が豊北中校舎で学習活動を行う取組がある。

この取組の目的は

- ◇6年生が早い時期に豊北中学校での生活体験することを通して、中1ギャップの解消を図る。
- ◇小学生との交流を通して、中学生の主体性の伸長や寛容な心の醸成を図る。
- ◇小学6年生の児童を小中教職員が同時に観察し、情報交換を行うことで、児童理解・生徒理解の推進を図る。
- ◇小学校の授業の様子を中学校教員が気軽に参観したり、小中学校教員と一緒に授業を行ったりするなど、小学校教員と中学校教員との連携を深めることで、教員の資質・能力の向上を図る。

ことである。

3年目を迎えた今年は、昨年度の子供たちの感想等を踏まえ、中学生の授業の様子への参観や中学校の先生による授業、小中学生が交流する機会の企画など多くの改善が図られ、より有効な取組となった。



② 子ども達が主体となって地域の方々と交流するレクリエーションを企画すること

③ ボランティアの方々の役割を明確にすること

この反省点を改善するために学校運営協議会で2度協議を行った。二見地域の訪問は、二見饅頭の工場見学や夫婦岩に関する講話などを1年生の滝部コースに追加した。また、昼前後のレクリエーションタイムには、子ども達がボランティアの方々の名札を用意したり、一緒に楽しめるクイズを準備したりするなど、それぞれの学年が工夫をこらして交流を図った。さらに、ボランティアの方々には事前にその内容を伝え、役割を理解してから当日に臨んでもらった。

今年度は昨年度の反省点の改善がしっかり図られ、深化・充実した実り多い遠足となった。



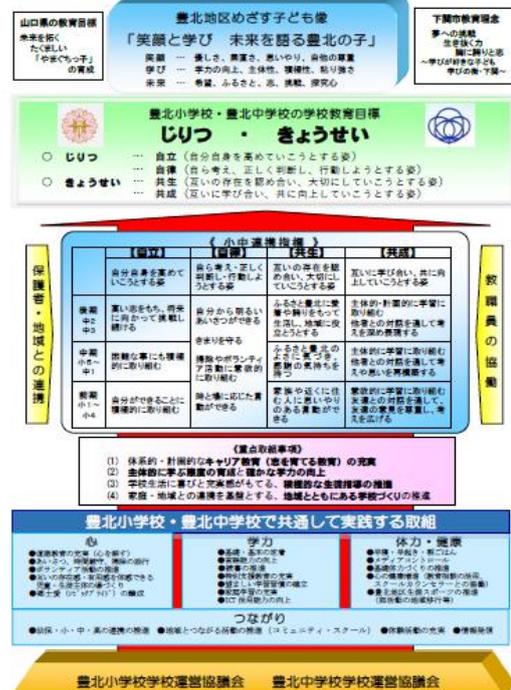
(4) 小中共通のグランドデザインの見直し、策定

小中共通のグランドデザインを策定してから3年が経過し、本年度は、小中学校の教職員、学校運営協議会委員が協力して、このグランドデザインの見直しを行った。「ふるさと愛を育てるためにはスモールステップのめあてが必要である」「タブレットの導入に伴い家庭学習の方法にも変化が出てきている」などの意見を踏まえ、『小中連携指標』や『共通して実践する取組』を修正した。

令和4年度 下関市立豊北小学校・豊北中学校 グランドデザイン



令和5年度 下関市立豊北小学校・豊北中学校 グランドデザイン



(5) 気になる児童の情報交換

年2回、小中の教職員が全員集まり、児童生徒の情報交換を行っている。このことは、連続性のある指導・支援、個に応じた、より適切な指導へつながっている。



(6) 子育て支援資料「笑顔と学び 未来を語る豊北の子」の改訂版の作成

全国各地における少子化の急速な進行や子育てをめぐる厳しい現状の中、地域社会が活性化に向かっていくためには、地域社会の宝である子どもたちの健全な「育ち」と自発的な「学び」をしっかりと支援していくことが大切になってきている。

そこで、小・中の学校運営協議会委員、こども園、豊北小学校、豊北中学校の教職員が連携して、地域の子どもたちがよりよく育っていくための「子育て支援資料」を作成し、豊北町内のこども園、小学校、中学校の全保護者等に配布する取組を行っている。

今年度は、3度目の改訂版の作成年に当たり、上記の委員、教職員が見直しを行い、改訂版を作成した。

この資料が、家族とのふれあいを通した子どもの基本的な生活習慣の確立とそれを基盤とした自主的な家庭学習の習慣化につながっていく一助になればと思っている。

子育て支援資料（令和4年度未改訂版）

笑顔と学び 未来を語る豊北の子

子供の育ちと学びを みんなで支えよう



下関市立豊北小・中学校学校運営協議会
下関市立豊北小・中学校PTA
(豊北こども園、豊北きららこども園、豊北小学校、豊北中学校)

令和5年3月

小学校5・6年生

【めざす姿】 予定を立て、自ら学習を進める
【保護者へのメッセージ】 見守ってがんばりを認め、自ら学ぶ力を高めましょう。

「育ち」や「学び」の特徴	学校での学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。 ○ 自分で考えようとする姿勢が強くなり、大人への反抗が見られるようになります。 ○ 集団の中で自分の役割を認識し、責任を果たそうとしたり、他者との接し方を考えたりするようになります。 ○ 小学校の学習のまとめをして、中学校につながる大切な時期です。 ○ 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する関心や意欲が大きく左右されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で問題をを見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。 ○ 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「もの見方・考え方」を育てます。 ○ 学習内容が多くなるとともに、社会や世界に目を向けた学習もします。 ○ 「家庭」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。 ○ 「外国語」が始まり、「聞く」「読む」「話す」「書く」ことを通して、コミュニケーションを図る基礎を身に付けていきます。

家庭学習のポイント

- 間を取りながら音読するなど、自分のペースを決めて行いましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 漢字の構成や字形を認識して、意味を考えながら練習しましょう。
- ローマ字の練習をしましょう。
- 習った漢字を使って、熟語や短文をつくりましょう。
- いろいろな種類の本を読みましょう。
- 分数や小数の計算が確実に行えるようにしましょう。
- 家庭で「読書タイム」を作り、家族全員で本に親しみ、感想を話し合ってみましょう。
- 各教科の教科書を音読し、重要な用語や内容を理解できるようにしましょう。
- 答えの確かめを自分で行い、やり直しをして正しく理解しましょう。
- ニュースや新聞等を通して、社会の様子に目を向け、感想を書いてみましょう。
- 昔ながらのふしぎなど、興味のあることを調べてみましょう。
- 授業で学んだことを生活に取り入れてみましょう。

家庭で大切にしたいこと

- 「言うことを聞かない」といった場面が見られるようになるのは、子どもの自立が始まった証拠です。冷静に子どもの姿を見つめ、常に会話を重ねる努力をしましょう。
- 地域の行事や体験活動に子どもと一緒に参加するようにしましょう。
- しつけは大切ですが、感情にまかせて叱ることはしつけではありません。「叱る＝怒る」ではなく、子どもの立場にもなって、「叱る＝教える」という気持ちで対応することが大切です。
- SNS やオンラインゲーム等の利用状況を把握し、家庭でのルールを決めましょう。

3 終わりに

以上のような取組を通して、幼保小中・保護者・地域の相互理解が深まり、12年間を見通した教育の体制づくりが少しずつで前進してきている。しかしながら、まだまだ改善の余地がある。よりスムーズな小中一貫教育校としてのスタートが切れるように、幼小中の教職員・保護者・地域が、グランドデザインを柱に、子育て支援資料をよりどころとしながら、同じベクトルで教育活動が展開できるよう研修を重ねていきたいと考えている。